

新盆万灯塔婆供養

8月15日(土)午後16時より

～本年初めてお盆を迎える御霊の御塔婆供養です～

お焚き上げ供養

8月20日(木)午前11時より

※お焚き上げを希望される方は11時までにお持ち下さい。

北海道島牧村 千走寺御住職 村上秀典 老師
御法話 午後12時45分より

お盆大塔婆供養

8月20日(木)午後13時30分より

～御先祖様への感謝報恩の御塔婆供養です～

昼食のご用意をしておりますのでご家族様でお越し下さい。

道しるべ

令和八年
お盆号

宮の森 大乘院



大乘院寺報 令和8年7月
〒064-0938
札幌市中央区宮の森1263-3
電話(011)641-8904
FAX(011)631-0004
E-mail yakuou@triton.ocn.ne.jp

第104号

拈華微笑 (ねんげみしょう)

住職 田中清元

皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。暑さ厳しき折、ご自愛のほどお祈り申し上げます。

昨今、世界中で言葉が飛び交う時代となりました。スマートフォン一台あれば瞬時に世界中へ言葉を発信できるSNSの普及、さらにはAIが人間さながらの言葉を紡ぎ出す時代。まさに言葉の洪水とも言える状況の中に、私たちは身を置いております。ところが不思議なことに、言葉が増えれば増えるほど、人と人との間にある溝は深まるばかりのように感じるのは私だけでしょうか。

世界に目を向ければ、言葉による対立と分断がこれほど激しかった時代があったでしょうか。主義主張をぶつけ合い、正義と正義が衝突し、互いに言葉の刃を向ける。かつて平和の祭典と呼ばれたスポーツの場でさえ、政治的な言葉が飛び交う有様です。言葉とは本来、心を伝えるための架け橋であつたはずが、今や人を傷つけ、分断する道具と化してはいないでしょうか。

そのような時代だからこそ、改めて思い起こしたい禅のことがございます。「拈華微笑」。お釈迦様がある時、大勢の弟子

を前に、ただ輪の花を持ち上げられました。誰もがその意味を測りかねて黙している中、ただ一人、迦葉尊者だけが静かに微笑まれたのです。その微笑みを見てお釈迦様は深く頷かれ、言葉を切用いることなく、心から心へ直接真の教えが伝わったとされております。これを「不立文字(ふりゅうもんじ)」——文字や言葉に頼らず、心と心が直接触れ合うところに真実がある、という禅の根本の教えと伝えているのです。

言葉にならない微笑み、そつと差し伸べる手、静かに寄り添う姿。そのような言葉を超えた心の通い合いこそが、今の時代に最も必要なものではないでしょうか。お釈迦様が「輪の花に込められたものは、どんな言葉よりも雄弁に、人と人の間に橋を架けました。

今年もお盆の季節が参りました。境内にお越しの折には、どうぞ言葉を手放し、静かに御本堂で手を合わせてみてください。その沈黙の中にこそ、ご先祖様との、そして仏様との、言葉を超えたご縁が息づいております。

拈華微笑。言葉なき笑顔が、世界を救う力を持つと信じております。

合掌



花まつり(釈尊降誕会) 令和7年5月11日



本年5月17日(日)毎年恒例の薬王寺花まつり釈尊降誕会を勤修致しました。花まつりはお釈迦様のご誕生をお祝いする行事。本堂には多くの御檀家さんにお集まりいただき、式衆の皆さまとともに法要を厳修いたしました。法要の中では、誕生仏に甘茶をかける「灌仏(かんぶつ)」も行われ、小さなお子さんたちが順番に誇らしげな表情で甘茶をかけてくれました。さらさらと飾られた花御堂に、お釈迦様の誕生をお祝いする気持ち詰まっています。



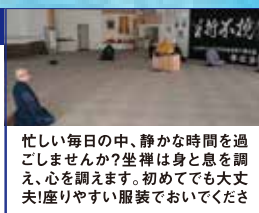
法要後は大乘院恒例のお子様イベント、今年は「スーパードラゴンド」を開催！本堂のロビーが一気にマリオの世界に大変身。クッパやキノピオ、テリーザ(おばけキャラ)の手作り看板がお出迎えし、的当てゲームやミニコース遊びにお子さんたちも大はしゃぎでした。さらに、南区で活躍中の四姉妹バンド「SHAKKA♡SHAKKA」によるバンド演奏も披露され、ご本尊様の前で力強い歌声と演奏が響きました。世代を超えて、お寺が賑やかな笑顔に包まれる一日となりました。来年もまた、皆さまと一緒にお釈迦様のご誕生をお祝いできますように。ご参加くださった皆さま、ありがとうございました。

活動のご案内

薬王寺では地域に密着したお寺を目指すため、様々な活動を行っております。皆さまのご参加、お待ちしております。

坐禅会

体と心を
調えましょう!
毎月1日・15日
午前7時より
参加無料



ご詠歌

仲良く楽しく
唱えましょう
毎週金曜日
午後1時より
会費あり



子ども空手教室

心と体を
鍛えましょう
毎週月・木・土曜日
午後5時より
お寺



答を行う等」という大役を務められました。厳肅な空気が流れる本堂での問答は、とても緊張感がありましたが堂々と声を張り上げて行う姿に、確かな成長を感じ、この日を迎えるまでに学業や部活を併用しての準備期間、自分自身と向き合い、必死に努力を重ねてこられたことがその一言一言から真つ直ぐに伝わってきました。その立派な姿に涙する方々も。この貴重な経験を学業や空手そして修行にもいかし、心身ともにさらにたくましく成長してくれることを願います。

絃元君、この度は誠におめでとうございました。



6月20日銭函の龍眼寺様にて晋山式(新しいご住職さまをお迎えする儀式)が執り行われ、ご縁をいただき、住職のお孫さんで副住職の次男絃元君が、首座(修行僧のリーダー)として問

法戦式

8月に年忌法事にあたる方へ

8月にお伺いできない日

- ◎柵 経 期 間 …1日~12日
- ◎お墓参り期間 …13日~16日
- ◎法 要 の 日 …20日

この日以外のご法事はお受けできますが、あらかじめ日時をご相談の上、決定してください。

法要のご相談や行事の確認も、LINEでいつでもお気軽に。

- ・お寺からのお知らせもLINEで
- ・チャットでお問合せできます
- ・御祈禱のお申込みもこちら
- ・塔婆供養、万灯供養も
- ・Google Map ヘルリンク
- ・公式サイトヘルリンク

QRコードを読み込んで
友だち登録



登録はコチラ

@145illbx
でLINE ID検索

8月 お参り予定 お盆供養

(月参りはお休みです)

1日、12日

午前7時から午後6時まで
お盆のお参りに伺います

◇御先祖様をお迎えする為の、大切なお勤めです。地区の担当者が予定日を決めて、ご自宅にお伺いします。御協力お願い致します。

日時のご案内は発送済みです
届いていない方はご連絡下さい

【お盆参りのお願いです】

●住所変更や日時の御変更、お休みの時は、お手数ですが、お早目にお知らせ下さい。
●ハガキに午前午後と、時間帯に○印が付いていますが、おおよその目安で前後することもあります。恐れ入りますが、お時間には余裕を持ってお待ち下さい。

●この期間中は、お寺に僧侶が不在がちです。ので御了承下さい。
●お伺いの際に水供養塔婆・水塔婆をお持ち致します。口の広めのコップに、水を半分ほど入れ御用意下さい。水塔婆は十六日まで、毎朝水を取り替えると丁寧ですね。



※十六日が終わりましたら水から出し、乾燥させて、二十日の法要に御持参頂くか、半紙等にくるみ、来年のお盆か、次の御命日の時に、お渡し下さい。

13日、16日

お墓参りの期間です

※お寺の開門は

午前7時から午後6時まで

◇御先祖様のお墓にお参りに行きます。お寺では朝七時より夜六時まで開門してまゝ。お経のお申し込みは受付順です。お供物は、皆様でお召し上がり頂く事も御供養です。出来るだけお持ち帰り下さい。

お時間が合わない方はお寺までご連絡ください。

《駐車場ののご案内》

新本堂の駐車場も使用できます。また境内での事故や盗難に関しては責任を負いかねますので充分ご注意ください。

15日 新盆供養
午後四時より

今年新盆の方は
令和七年六月二十六日、
令和八年六月二十五日迄の仏様です。

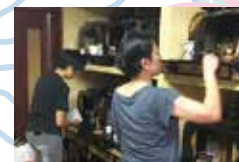


◇今年初めてお盆を迎えられる精霊様だけの御供養です。想いを込めて灯火を供え、お塔婆を建立して供養の誠を捧げましょう。
午後四時までお越し下さい。
(法要中は本堂納骨堂でのお参りを御遠慮して頂く事があります。)

御先祖供養、回忌供養の方は
二十日の法要へお越し下さい

16日 お供物のお下げ
午後より

◇境内のお墓や納骨堂のお供えを下げる日です。御檀家さんや婦人会の皆さんにお手伝い頂きお掃除をします。ご協力頂ける方は、お昼頃までお越し下さい。



当日お参りの方は、御供物のお持ち帰りを協力下さい

20日 お盆大法要
午後一時半より

◇お盆総供養の大塔婆供養を致します。本年回忌を迎える方にはご案内を同封させて頂いております。お塔婆供養は回忌にあたる方だけではなく御先祖様へのご供養もしております。

当日ご参詣になれない場合は、お寺が代わってご供養致します。当日のお申込みも可能ですが、なるべく午前中までにお申込みをお願い致します。

◇当日はお焚き上げ供養も行ないます。古い御守りや水塔婆などお持ち下さい。ただし生ものや不燃物は受付出来ません。



21日 からの参りは

◇お寺は二十日以降、お盆の片付けに入りますが、祥月命日(本命日)や中陰(四十九日中のお詣り)、ご法事のお勤めにあがりますので、お時間の予定など遠慮なく御相談下さい。

《護持会費について》年間一万円

檀信徒様が気持ちよくお参り頂けるように、お寺や境内を管理・整備させていただく為の大切な会費です。【月命日や本命日、お盆参りや御法事等に伺っている方には、必ず納めていただく会費となります。現在未納となっている方には順次ご案内を郵送させていただきますが、ご存知なかった方や代わりなどでよくわからない方はご相談させていただきますのでお寺までご連絡をお願いします。

8月16日
滝野霊園 13時より



8月16日に札幌市南区の真駒内滝野霊園にて「シベリア抑留関係者慰霊祭」を行います。
シベリアを中心とするソ連各地に抑留され、抑留中に外地で亡くなった犠牲者を悼み、戦後強制抑留中死亡者、抑留関係者またはそのご遺族に対して、慰藉の念を表明しております。
関係者の労苦を広く国民に伝え、その理解を深めるための活動として全国抑留者協会の北海道支部長である当山御住職により毎年活動を行っております。
皆様にもご参詣頂けましたら幸いです。

新盆法要・孟蘭盆法要の御案内

○新盆法要

八月十五日 午後四時より
(令和七年六月二十六日から令和八年六月二十五日まで亡くなられた方が迎える初めての盆法要)

○孟蘭盆会法要

八月二十日 午後一時半より

◆お塔婆供養

「お塔婆」とは亡き御先祖様の御霊の成仏、安寧を願い、家族そして友人などによつて建てられるもので、故人への便りでもあります。御先祖様を大切にすることは自分を大切にすること。ご供養するその功德は全てのものにめぐります。

本年初めてお盆を迎えられる方や、回忌にあたる方には塔婆供養をお勧め致します。

御塔婆は二年間境内に安置し御供養致します。

◆お塔婆申し込みについて

- ・お塔婆(大塔婆) 供養料 一霊二家名……………二万円
- ・お塔婆(中塔婆) 供養料 一家名……………五千円

お申込みいただく際は同封の申込書にご記入のうえ僧侶に直接お渡しいただくかご郵送下さい。

※ご不明点・ご質問などは遠慮なくお寺へご連絡下さい。



◆お盆のお参りにお伺いいたします

夏らしい日が続いております。お参りに伺うと皆様から、お茶を出していただいたり、いろいろなお話しを伺ったり、故人様、仏様が作ってくださった仏縁に感謝しています。今年もご自宅等へお盆のお参りをさせていただきます。



住職 田中 清元



副住職 田中 基裕



田中 裕元



廣澤 一徳



院代 橋坂 慎龍



鶴間 隆道



森川 敬道



井崎 信海

◆山内でのお参りについて

8月1日から12日までの期間は、
曹洞宗が8月8日、11日のみ 浄土真宗は土日祝のみ
お寺でお経をあげる事が出来ます。その他の平日は出来ませんので予めご了承ください。



いつもお参りご苦労様で御座います。今年のお盆は8月13日から15日までの3日間はお寺で仏花をお求め頂けます。数に限りがありますので予めご了承ください。その他のお日にはご持参くださいます様お願い致します。



◆今年のお参りは手ぶらでお越し頂けます

令和8年10月10日(土) 東堂十七回忌法要

～先代住職当山二世惇風孝印大和尚名忌(十七回忌)法要～



「御先祖様のお陰」で今の私が あります。多くの御先祖様に感謝し、今いただいている尊い命の御縁に気づき、報恩の気持ち をあらわすのが、法事のまごころです。当山を築いた、東堂様の17回 忌法要も併せて行います。共に両祖様、御先祖様へ感謝報恩のお勤めを致しましょう。

